

## 佐賀の嬉野茶がベトナム野菜を元気に！

～佐賀発の技術でホーチミンまで新鮮野菜を届けます～

国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社炭化(佐賀県佐賀市、入江康雄代表取締役社長)が提案する「ラムドン省における農産物品質向上のための長期鮮度保持システムの導入にかかる案件化調査」(ベトナム社会主義共和国)を採択しました。

ベトナム政府は、ベトナム国内外の需要に応じた高付加価値の農作物の生産を通じた農業振興を推進していますが、コールドチェーンが十分に確立されていない現在の輸送環境下では、生産地から最大消費地である首都ハノイやホーチミンまで新鮮な農産物を輸送できないことが課題となっています。

本提案技術である「Tanka Fresh」は、嬉野茶から抽出したカテキンと、炭化竹炭、シリカを主原料に天然由来成分で作られた吸着剤であり、非常に安全性が高いうえに、青果物の腐敗の原因となるエチレングスなどを短時間で吸着する効果があり、野菜の鮮度を長時間にわたって保持することが可能です。



(左)Tanka Fresh の  
中身と外観



(右)野菜運搬時の梱包  
イメージ

今回の調査では、ベトナムにおける高原野菜生産の中心地であるラムドン省において、農家がトマトや花卉等の作物に「Tanka Fresh」を同梱し、輸送することにより、農産物の鮮度が保持されたまま輸送・流通・販売可能性を調査します。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第1回分は本年2月に公示を行いました。117件の応募のうち35件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。参考:(プレスリリース)案件化調査2016年度第1回公示の採択結果について

URL: <http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA九州国際センター 担当:小西 TEL 093-671-8204

JICA国内事業部中小企業支援調査課 安井(案件担当)、橋本(広報担当)

TEL 03-5226-3243 e-mail: [pdtfs@jica.go.jp](mailto:pdtfs@jica.go.jp)